

H30年3月実施ライト牧場 放課後等児童デイサービス自己評価

○環境・体制整備

・既存の建物を使用しているため部屋の大きさ、バリアフリー化などは利用者さんの利便性を考慮し改善をして行く。

○業務改善

・職員の資質向上を目指すため研修会には積極的に参加をしている。研修会参加スタッフによるミーティングのほか、毎月スタッフ全員で全体ミーティングを行い利用者さんや業務内容・改善項目について連絡・確認・改善を行っている。

○適切な支援の提供

・日々の利用者さんの個々の様子を把握・記録し、利用者さんの状況をスタッフ間で共有している。課題としては自宅まで送迎を行っている都合上、スタッフ間での当日中の振り返りは難しい日もある。翌日にはスタッフ全員で前日の利用者さんの個々の様子を振り返りをして当日の支援を行っている。

・児童発達管理責任者による半年ごとの支援スケジュールに基づき、利用者さんに合わせた支援会議を行い支援計画の見直しを行っている。

・計画前に変化があった場合はスタッフ間で話し合い、その都度支援計画の変更をしている。

○関係機関や保護者との連携

・学校への送迎時に先生にその日の学校での様子、体調面を伺っている。当事業所では対応に困る事や疑問がある時には学校や他の事業所に連絡し情報共有を行っている。

・利用者保護者宛には利用時の活動内容を連絡帳に記載。体調面の参考に就寝・起床時間を伺っている。

○利用者保護者等への説明責任

・利用希望者さんには、施設見学や利用手続きなどの説明を行なっている。

また、入所重要事項説明書・契約書を双方で確認させていただき契約時に説明を行っている。

・利用者さんの個人情報や施錠のできる場所に管理責任者が適切に保管している。

・苦情があった場合には管理者が保護者に対し説明・対応を行っている。

・その他、利用者保護者様参加行事を計画し案内実施している。

・夏休みに近くの河原に遊びに行き、保護者も参加してもらい昼食会を開催している。

○非常時等の対応

・避難訓練を年に2回実施。感染症対応マニュアルを定期的に確認している。

・虐待防止や身体拘束についての研修に参加していないので研修の機会を設ける。

総評

・自己評価を行った事でスタッフの間での連絡、情報の共有の重要性が確認できた。保護者、関係機関と密に連絡を取り合い利用者さんにより良い支援を提供していきたい。